

# アイスクリームで、 農林水産物生産者と消費者を笑顔に

## 有限会社 酪ママ工房

代表取締役 野村 多恵子さん



代表取締役 野村 多恵子さん

### 絞りたての牛乳を使った本物の味を届ける



商品の製造と販売を行っています『ROYAL MERRY』

海岸や温泉で、京丹後市の観光地の一つとして知られる夕日ヶ浦地域では、かつて複数の酪農家が存在していました。搾りたての新鮮な牛乳と、地元の野菜や果物を仕様したソフトクリームやジェラートを製造・販売している有限会社酪ママ工房の代表取締役 野村多恵子さんもその一人です。同社は野村さんを含む酪農家婦人4名によって平成10年（1998年）に設立されました。

地域の酪農活性化事業として、酪農家が造る「こだわり牛乳を使った商品を開発・販売する事」を目的に事業を始めました。当時は酪農婦人のアイスクリームと話題になって観光客を中心にかなり売れました。オープン間もなく、酪農の仕事や家庭の事情でメンバー3人が同社の仕事を継続できなくなり、野村さんが事業を引き継ぎました。

平成18年（2006年）には浜詰・夕日ヶ浦に「Royal Merry-ロイヤルメリー」もオープンしました。事業を拡大する為、平成21年（2011年）に開店した峰山店は高い維持費や原材料の高騰もあり2年後に閉店。経営革新の方策を困っている時、ファンドの存在を知り野村さんは活用を決めました。

### お客さんの元へ出向く移動販売で 売り上げアップ

野村さんの事業は

- ①府内商品を活用した商品の移動販売による販路開拓
- ②生産者とのOEM（受託製造）によるオリジナルジェラートの製造
- ③エディブルフラワー（食用花）を使用した商品の開発の3つ。

移動販売では助成金を活用して、すでに購入していた三菱自動車の電気自動車「MINICAB-ミーブ」の塗装費をはじめソフトクリーム機械・アイスクリームショー

### 農林水産物の活用



お祭りなど地域での移動販売を行っています

ケース・発電機の購入費や改装費などに充てました。当初は近隣のスーパーマーケットで販売を行っていましたが、買い物客のニーズに合わないと感じ、地域のイベントや手作り市へ販路を転換。商品の美味しさで着実に売上を伸ばしています。「移動販売の実施期間は3月から11月ですが」固定店舗に比べて運営コストが安く、本物の味を追求したジェラートを地域の方々に気軽に楽しんで欲しいと思い始めました。出張先は地域のお祭りの他に、珍しい場所では歯科の催しなど多岐に渡ります。小規模の場所などを含めると近隣でもかなりの数のイベントが行われています。また、一度食べて商品のファンになった方が自身のイベントに呼んで頂いたり、別のイベントを紹介して頂いたりする事もあり、すごく楽しく販売先が決まっています。

### アイスを通して地域の産業を次世代へ残す

OEM事業は提携する農産物や食品の生産者の素材を使用したジェラートを開発し、提携先の商品として販売するという物です。助成金は主に商品開発費用や販促物の制作費用として活用し、和菓子屋と提携した「あんこソフトクリームとジェラート」・酒蔵と提携した「地酒ジェラート」など丹後地域の名産物を使用した商品を開発。宇治の茶園とも提携するなど、京都府下にもOEM提携先は広がっています。

「当初は農業などの生産者を想定していましたが、事業を始めてみると地域のお店や自ブランドのお酒やお米を作っている旅館が多いですね。提携先は商品をこだわって造っておられる所を限定しています。良い物を

造っているのに、商品開発に悩んでいる。そんな生産者のお手伝いをさせて頂きたいと考えています。」と野村さんはOEM事業にこだわります。

エディブルフラワーの事業では、伏見産のエディブルローズを使用したジェラートと「エディブルローズのアイスケーキ」を商品化し、自社店舗やホームページで販売しています。エディブルフラワーを使ったジェラートの製造・販売は、京都府下では同社が初めて行い、全国版有名雑誌にも取り上げられました。現在は、特にアイスケーキは、クリスマスの他、誕生日や各種記念日のギフトとして購入されています。「品質の良いエディブルフラワーを使用しているので、価格も少し効果になります。ターゲットは高級志向の方や流行に敏感な方なので、そうした方々への広告が今後の課題です。」

3つの事業は、順調に運んでおり、野村さんも、「売上が安定しました」と経営革新の成功を実感しています。

「助成金のお話を伺ったタイミングが良かったと思います。以前は赤字の時期もありましたが、今は十分な黒字を継続しています。移動販売では、より遠方に出かけるため、大型車両の購入を検討しています。でも、売上重視の気持ちはありません。私の願いは、地元をはじめ丹後地域の本当に良いものを多くの人々に知ってもらい、残していくこと。そして、次の世代が地元で生活できる産業の基盤を作っていきたいと思います」



食用のバラを使った『エディブルフラワーのアイスケーキ』

### 事業概要

#### 有限会社酪ママ工房

<http://www.rakumamakobo.com/>

代表：代表取締役 野村 多恵子

業種：アイスクリーム・ジェラートの製造販売

創業：平成10年

設立：平成10年2月

住所：〒629-3245 京丹後市網野町浜詰46

TEL：0772-74-1911 FAX：0772-74-1911